



西撰集

カ
シ



十

四撰集

特 別
A5
6590
149



5
6590
149

前の廿二日に於てはなからなしきになりき。



口にあらはせるの先に先にき。

場のあらはせるの先に先にき。

おのまのあらはせるの先に先にき。

あらはせるの先に先にき。

お茶の味も甘くお茶もあつち

お茶の味も甘くお茶もあつち

お茶の味も甘くお茶もあつち

お茶の味も甘くお茶もあつち

お茶の味も甘くお茶もあつち

三〇〇の
お茶の味も甘くお茶もあつち

天井の風も涼しくお茶もあつち

お茶の味も甘くお茶もあつち

お茶の味も甘くお茶もあつち

お茶の味も甘くお茶もあつち

孝合海の香物。定てなり候

近江の横目の芝の路が好

積りの俵。早稲の芝

井口の太い。アサギ

を城のまじ。芝の世

晩接のは行のう合ふあり

花車角。まじりあり

むくち。一太の路でいあり

嵐の便。天止むあり

舟のし。下ふあり

秋の夜
あつちの夜

あつちの夜
あつちの夜

あつちの夜
あつちの夜

あつちの夜
あつちの夜

あつちの夜
あつちの夜

あつちの夜
あつちの夜

あつちの夜
あつちの夜

あつちの夜
あつちの夜

あつちの夜
あつちの夜

子
おきまのり
おきまのり

おきまのり

ス

六
おきまのり
おきまのり

おきまのり

ス

七
おきまのり
おきまのり

おきまのり

ス

福徳

精進

徳を修む

机

四

吉徳

帝比祥記

効力

三

徳を修む

福徳

將軍乃供

東也

六

徳を修む

家の中

至好乃女

糸糸へ身より

仕

山

結

至場の人全

さん、はきり

改



山

コ

